

広報 第九十号

さくら前線

職員紹介



外科医師 瓜田 有三

『「挨拶」』

6月より毎週水曜日の診療を担当させていただきます。昭和22年、東京の下町に生まれ58歳まで東京で暮らしていました。その後妻の生まれた群馬県に移住して来ました。

少しでも地域医療に貢献出来るよう勤めて参りますので、宜しくお願い致します。

『「挨拶」』

看護師 高倉しのぶ

6月より入職致しました看護師の高倉しのぶと申します。

分からないことがたくさんある中で、スタッフの皆様には色々とお氣にかけていただき、とてもありがたく思っております。

ご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、一日でも早く仕事に慣れ、戦力としてお役に立てるように一生懸命頑張りますのでご指導の程、宜しくお願い致します。

『着任の「挨拶」』

介護課副主任

笠原 邦明

この度、6月より3階介護課の副主任に着任いたしました介護福祉士の笠原と申します。

介護の仕事始めて7年になります。吾妻さくら病院に来る前は、沼田市の小規模多機能ホームに勤めておりました。

介護の仕事は、日々勉強で新しい発見もあり、楽しい時もあり、大変な時もあり、イライラしてしまう時もありますが、患者様とお話をして、笑顔が見れると、こちらも嬉しくなり、それが自分のモチベーションを上げてくれます。

副主任になって責任のある仕事も増えてくるかも知れませんが、あまりプレッシャーを感じず自分らしく、マイペースで仕事をして参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

薬局だより

輸液ってなに?【その2】

主任管理薬剤師 門脇 寛篤

もうそろそろ炎天下の夏。脱水や熱中症に気がつきたい時期となりました。

今回は、先月に引き続き、輸液の種類やカロリー、どういった時に用いるのかを示していこうと思います。

脱水や熱中症は、体内水分量の喪失によって引き起こされる病態です。急激な喪失と慢性的な喪失によるものに分別されますが、いずれも補正が必要となることは変わりありません。

人は一般的な目安として一日あたり体重×30mlの水分量を摂取すれば、必要水分量は補えます。夏場はこれに加えて不感蒸泄分を補う必要があります。「喉が渇く」といった現象は、体内が水を欲している状況の一つの表れです。



基本的に水分は、目に見えるジュースや水道水だけではなく、食物にたくさん含まれるので、ペットボトルで無理やり理想水分量を摂取する必要は全くありません。この時の脱水は主に細胞外液の喪失によるもので、病院に来て行う点滴は、リンゲル液※や3号輸液となります。

カロリーはリンゲル液には入っており、だいたい食塩が3g入っています。

3号輸液は86kcal/500ml入っており、ブドウ糖が入っていることで細胞内液補充にも役立ち、細胞内脱水にも有効です。3号輸液とは、1号↓開始液、2号↓脱水補給液、3号↓維持液、4号↓術後回復液と表されておりますが、実際は2号液は殆ど利用されず、3号液の使用となっております。高血糖を併発している時は生食を用いたりします。

いずれにせよ、脱水により血液が濃縮されてしまうと、その後、脳梗塞や血栓症が引き起こされてしまったり、電解質異常を伴うことにより痙攣や意識消失等も起きることがあるので、適切な輸液の投与が必要です。

今回は、脱水に対する輸液のみとなってしまいました。次回は種類やカロリーなど、その先の話をしようと思います。

次回もお楽しみに!

※ リンゲル液(0号液)とは、生理食塩

水にカリウムやカルシウムを加えたもの。細胞外液と似た電解質組成の製剤。

食事	1日必要量	維持液
	水分 約2000mL Na ⁺ 、Cl ⁻ 60~100mEq K ⁺ 40~60mEq	3号液500mL×4本で 1日に必要な水・電解質の機能が可能

介護だより

介護支援専門員

唐澤 竜太

介護施設に入所している利用者様は家族以外の方との集団生活といった自宅とは違った環境で生活しています。

日常生活の楽しみは一人一人違います。テレビを見る方、おしゃべりをする方、景色を見て季節の移り変わりを楽しむ方。そんな生活の中で施設側が提供する楽しみの一つがレクリエーションや各種季節のイベントです。

吾妻さくら病院介護療養型医療施設（介護保険病棟）では、レクリエーションの一環として、図画工作クラブを行っています。個人作品を作る事もあれば、皆で一緒に1つの大作を作り上げる事もあります。ダルマを作ったり、絵を描いたり、季節に応じてちぎり絵や折り紙細工等、できあがった作品は病棟に飾り普段の生活を彩ります。利用者様一人一人状態が違いますので、大変な人は職員が手伝ったり、時には利用者様同士で助け合いながら作品を作っていきます。

皆さんで作った作品は、秋に中之条町で行われる産業文化祭に出展しています。2年前より、出展を始め、中之条ツインプラザで多くの人に作った作品を見ていただいています。今年も3年連続の出展に向け張り切って作品作りにも励んでいます。ぜひ足を運んで下さい。病院外来待合室や病棟にも作品が飾られています。御来院の際は目にとめていただければと思います。

ます。これからも吾妻さくら病院介護療養型医療施設では皆様に楽しんで生活していただけるよう、レクリエーション・イベントを企画して参ります。



出展作品の一例

介護講座

『フレイルとはなんだろう？』

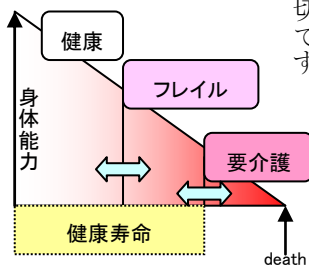
「フレイル」を予防しましょう。

「フレイル」とは、高齢者において心身の活力が低下した状態を言います。一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態ともされており、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味します。

多くの方は、フレイルを経て要介護状態へ進むと考えられていますので、フレイルに早く気付き、治療や予防をすることが大切です。

「フレイル」の基準

- 1 体重減少（-4.5 kg/年）
- 2 疲れやすい
- 3 歩行速度の低下
- 4 握力の低下
- 5 身体活動量の低下



以上5項目中3項目が該当される方はフレイルと判断されますので、要注意です。

診療案内(7月)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 循環器科	午前	中澤※1	中澤	中澤	中澤	於川※2	於川
	午後						休診
外科 胃腸科 (整形・リハビリ科)	午前	高橋 (群大)	須賀 (群大)	瓜田※3	中澤 (群大)	笹口	(群大)
	午後						休診
認知症外来	午後	休診※4	休診	休診	休診	休診	休診

- ※1 第1月曜日(2日)は内科休診となります。
- ※2 第3金曜日(20日)AM9:45~17:00は非常勤内科医師の診療となります。第1金曜日(6日)は中澤院長の診察となります。
- ※3 第3水曜日(11日)は外科休診となります。
- ※4 第4月曜日(23日)午後の診療となります。心療内科は新規受け入れを休止しております。
- ◆ かかりつけ患者様の急病時はいつでも対応します。
- ◆ 外科休診日でも軽度のケガ等はお相談ください。
- ◆ 7月休日当番医は 15日(内科/外科)・29日(外科)となります。

外来受付時間：午前 8時45分 から 12時00分まで / 午後13時00分 から 17時00分まで

休診日：土曜日午後、および日曜・祝日

- ※ 於川医師の診療は毎週金曜日(6日除く)および毎週土曜日となります。
- ※ 診療日変更となる場合もございますので、院内掲示板や受付窓口にて最新情報をご確認ください。

発行：吾妻さくら病院 広報委員会

吾妻郡中之条町伊勢町 782-1
TEL: 0279-75-3011
FAX: 0279-75-3299
URL: <http://www.a-sakurahosp.com/>

